

アフリカの風… 医療を通じた関わりを求めて…

—宮尾陽一短期タンザニア派遣ワーカーの活動報告—

日時：2009年6月20日（土）午後2時～4時

場所：日本基督教団 神戸多聞教会

牧師：山本 一

神戸市兵庫区荒田町3丁目12-14

TEL:078-511-4738

*神戸大学医学部付属病院前

会費：無料（席上献金あり）

JOCSでは、3年1期の長期派遣ワーカー（医療従事者）の他に、短期（1～2ヵ月）という短い期間のワーカー派遣も行っております。

宮尾陽一医師は、JOCS 短期派遣ワーカーとして、昨年と今年とアフリカのタンザニアで活動を行いました。現在、長期派遣ワーカーとして、助産師の清水範子ワーカーが同国で活動をしています。

日本から遠いアフリカのタンザニア。宮尾ワーカーの活動報告を通して、タンザニアの国、そこに住む人たちのことなど、ぜひ知っていただきたいと思っております。

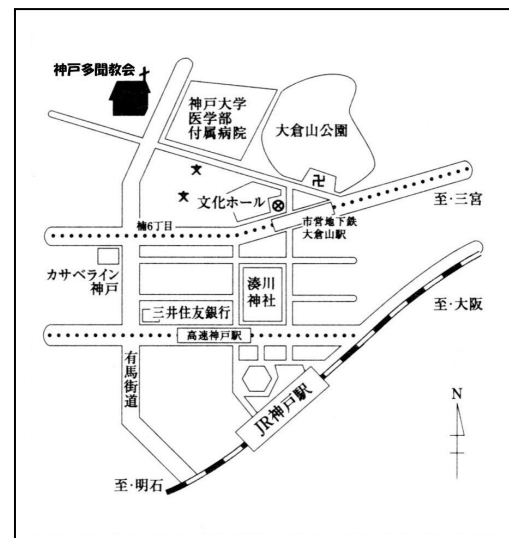
宮尾陽一ワーカープロフィール

1949年熊本県生まれ、今年60歳。千葉大学医学部卒業、外科医。

1989年から長野県軽井沢町立病院で終末期医療に力を入れ、病院としてのリビングウィル作成などに取り組む。

1998年から海外医療活動を開始。これまで主にアジアの国々で活動。

2007年JOCSワーカーとしてタンザニアに2ヶ月滞在。2009年1月から2月にかけて2回目のタンザニア訪問。



主催：神戸 JOCS

（日本キリスト教海外医療協力会神戸後援会）

協力：日本基督教団 神戸多聞教会

*お手元に使用済み切手がありましたら、ぜひ当日お持ち下さい。使用済み切手の収益金は、ワーカーが海外で活動するための資金として使用させていただきます。